

「安全・安心な社会の構築に資する科学技術政策に関する懇談会」報告書(平成16年4月26日)(概要)

資料 3
科学技術・学術審議会
基本計画特別委員会(第5回)
H.16.12.9

安全・安心な社会の構築に向けた科学技術政策上の課題および関連する社会制度的課題の検討

第1章 検討の背景と目的

意識せずに安全・安心が得られた社会

安全・安心を脅かす懸念の増大や情勢の変化

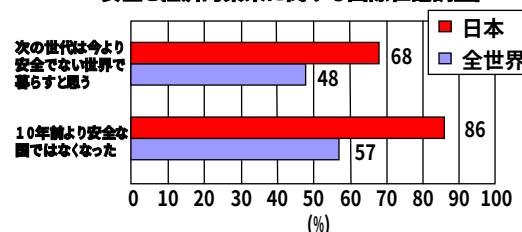
犯罪・テロの脅威、新興感染症の拡大、災害・事故の多発化、社会インフラの複雑化、未知の危険性拡大、個人の安全意識低下等

安全・安心に対する意識と投資が必要な社会

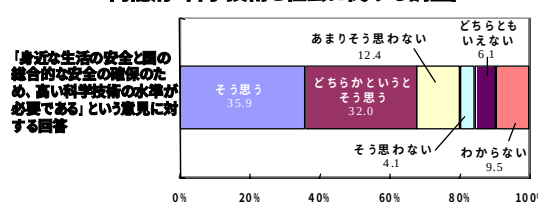
安全・安心に係る科学技術の検討の必要性

- ・社会の安全・安心の確保に科学技術は大きく貢献
- ・国民からも高い期待(7割弱)
- ・知的価値、産業的価値の創出と並び安全・安心は第3の基軸
→第3期科学技術基本計画に反映が必要
- ・科学技術から提案→社会制度的な対応と一体となった取組み

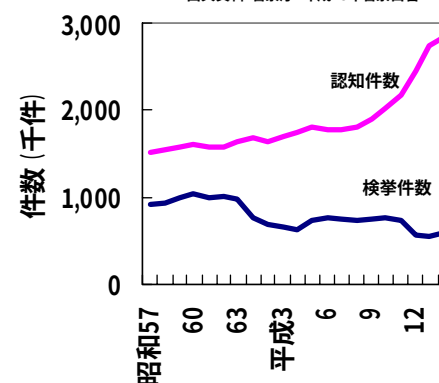
世界経済フォーラム
「安全と経済的繁栄に関する国際世論調査」



内閣府「科学技術と社会に関する調査」



刑法犯の認知・検挙件数
出典資料:警察庁 平成15年警察白書



第2章 目指すべき安全・安心な社会の概念

目指すべき安全・安心な社会

- ① 事故防止に加え発生後の的確な危機管理
- ② 既知のリスク対応に加え未知の危険への柔軟な対応
- ③ システムの安全に加え個人の意識・知識の醸成
- ④ 安全の確保に加え安心の実感
- ⑤ 正負両面を考慮した判断

第3章 安全・安心な社会に向けて取り組むべき課題

災害・事故関連

- ・自然現象の監視・観測とその社会的影響予測モデル
- ・リスクの可視化

人の生存を脅かす問題

- ・感染症予測・診断・治療技術
- ・有害物質対策

人為的な脅威

- ・テロ・犯罪対策のための危険物等検知
- ・情報セキュリティ対策のための次世代暗号

共通基盤として取り組むべき重点課題

- ・脆弱性発見・被害予測のための解析・シミュレーション技術
- ・先進的センサーシステム 等

第4章 安全・安心な社会に向けた科学技術政策の方向性

研究開発の強化

- ・課題解決型プロジェクト研究
- ・現場ニーズ主導型研究

研究者、技術者の育成

- ・情報セキュリティなどの専門能力やリスクを予見できる能力の養成
- ・価値判断基準、行動規範を含む総合的な科学技術教育
→研究者・技術者の人間力の向上

持続的な研究開発体制の構築

- ・革新的な技術シーズを提案するための大学・研究機関の体制整備・研究拠点の形成
- ・未知の危険への対応
→研究開発の多様性確保と知のネットワーク化

関連社会基盤の整備

- ・個人の知識・意識の醸成
- ・防災・防犯に効果があるコミュニティ形成への支援
- ・安全を安心として実感する取り組み

国際的取り組み

- ・アジア諸国等との協調・連携(感染症等)
- ・米国等との研究開発協力(相互依存性解析等)
- ・国際標準への対応

安全・安心な社会の実現